

# 令和7年

# 山口市 主な出来事

1月 ■中国名鉄運輸株式会社と新事業所建設協定を締結(24日) ■第13回やまぐち新進アーティスト大賞を吉田朱里さんに贈呈(31日)

2月 ■「第2回やまぐち伝統芸能フェスinYCAM」の開催(8日) ■公用車のカーシェアリングを拡充(1日) 【写真1】 ■第30回中原中也賞を高村而葉さんに決定(15日)

3月 ■山口市美術展覧会の大賞を小田伸次郎さんに贈呈(2日) ■株式会社ポーフと包括連携協定を締結(7日) ■総合警備保障株式会社と災害時における避難所等の安全確保に関する協定を締結(19日) ■湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」開館10周年(22日)

4月 ■「地域活性化起業人」として株式会社JTBから眞田直也さん、中森農産株式会社から中田紘平さんが着任(1日) ■グループタクシー利用券の年齢・距離要件の緩和(1日) ■「地域の担い手確保促進特別交付金」の創設(1日) ■新山口駅周辺での出店に係る支援事業補助金の創設(1日) ■国土交通省が「一般国道9号 木戸山峠道路改修」の新規事業化を発表(1日) ■道の駅「仁保の郷」朝市広場リニューアルオープン(11日) ■山口県土地家屋調査士会と災害時における支援協力に関する協定を締結(14日) ■山口市地域おこし協力隊(テーマ:徳地地域の振興作物等の情報発信、栽培技術の習得)として、宇野貴之さん・世良舞奈さんが着任(15日) ■アリババ株式会社が運用する地域情報ポータルサイト「RURUBU&ALLWAY JAPAN」を活用した観光情報の発信開始(18日) ■鑄銭司郷土館展示リニューアルオープン(19日) ■重源



【写真1】公用車のカーシェアリングを拡充(山口中央郵便局 駐車場)



【写真2】リニューアルオープンした重源の郷体験交流公園

今年、新市誕生から20年の節目を迎え、市民サービスの拠点となる新本庁舎棟の開庁、市民と観光客の交流拠点となる湯田温泉こんこんパークの供用開始等、これまで進めてきた新市のまちづくりが、まちの変化として感じられるようになった一年となりました。皆さんにとって、今年はどうな一年だったでしょうか。写真と共に主な出来事を振り返ります。

☎ 広報広聴課 ☎ 083・9334・2753

7月 ■山口市観光アンバサダーに委嘱(27日) ■令和6年観光客動態調査公表、観光客数がコロナ禍前を上回る(27日)

7月 ■デジタル分野の専門人材として、NTT西日本株式会社から藏重毅さんが着任(1日) ■韓国・公州市親善交流訪問団の受け入れ(4~6日) ■山口県農業試験場跡地利用基本計画を策定(15日) ■山口祇園祭「市民総踊り」に過去最多の1700人が参加(24日) 【写真4】

8月 ■山口市地域おこし協力隊(テーマ:住んでよし・訪れてよしの湯田温泉のまちづくりを担う)として、桑折司さん・理絵さんが着任(1日) ■令和7年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技の開催(4~9日) ■山口七夕ちようちんまつりに約15万人が訪れる(6~7日) ■令和7年度全国高等学校総合体育大会水球競技の開催(17~20日) ■山口市・昌原市(韓国) 姉妹都市締結15周年記念訪問団の受け入れ(22~24日)

9月 ■「山口市移住サポートセンター」すむむ相談所」を山口市役所本庁舎(山口総合支所) 3階に開設(1日) ■放課後児童クラブ開所時間を延長(1日) ■山口市地域おこし協力隊(テーマ:仁保地域の農産加工技術の継承・発信)として、澤志保さんが着任(1日) ■ホノルル市公式訪問団・ホノルル山口県人会を迎えて、山口市・ホノルル市友好都市提携を締結(20日) 【写真5】 ■大内南小学校でハワイ料理の給食を提供(22日・26日)

10月 ■ふるさと納税を活用した文化財保護制度寄附募集開始(1日) ■山口市ふるさと大使の石川佳純さんを起用した観光プロモーションを開始(1日) ■「大内氏がわかる絵本五重塔のひみつ」を発売(1日) ■「山口アステイネーション



【写真4】山口祇園祭「市民総踊り」



【写真5】山口市・ホノルル市友好都市提携調印式

## 新本庁舎棟の完成 「書かない」・「待たない」窓口サービスの提供



▲「書かない」窓口サービス

新本庁舎棟の完成により、これまで分散していた環境・教育・消防などの部署を集約し、市民の皆さんの多様なニーズに迅速にお応えしています。また、市民の利用が多い窓口は、1・2階に集約し、番号発券機の設置やおくやみ窓口などでのオンライン予約を導入することで、待ち時間の短縮を図っています。合わせて、引越しの窓口等では、システムを使いながら、職員が来庁者と一緒に申請書の作成を行うことで、ワンストップで対応できる「書かない」・「待たない」窓口サービスを提供しています。

また、市民の利用が多い

また、市民の利用が多い

また、市民の利用が多い

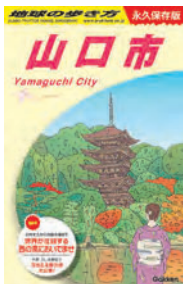
## 山口市誕生 20 周年



▲山口市誕生 20 周年記念式典

山口市誕生 20 周年記念式典では、本市の発展にご貢献いただいた方の表彰をはじめ、20 歳を迎える市民のリレーメッセージ等も披露されました。

また、新市誕生 20 周年を記念し、シリーズ累計発行 100 万部を越える『地球の歩き方』国内版シリーズから、市販として 3 番目となる『地球の歩き方 山口市』が発売されました。ご好評につき、本書は発売から 1 週間も経たず、重版が決定しました。



▲地球の歩き方 山口市

## 「山口デスティネーションキャンペーン」のプレキャンペーンがスタート



▲山口プレ DC スタートを記念した SL やまぐち号の出発式

JR グループと山口県、県内各市町が一体となって展開する国内最大級の観光キャンペーン「山口デスティネーションキャンペーン（令和 8 年 10 月～12 月開催）」のプレキャンペーンが、本年 10 月から始まりま

した。10 月 22 日（水）には、湯田温泉こんこんパークで、全国の旅行関係者に山口の観光やグルメを体感してもらうイベントが開催される等、12 月末までの間、市内各地でさまざまな取り組みが展開されます。

の郷体験交流公園リニューールオープン（24 日）【写真 2】

■山口市新本庁舎棟の供用開始、ワンストップで「書かない窓口」が本格スタート（7 日） ■山口市・パンプローナ市姉妹都市締結 45 周年記念訪問団をパンプローナ市に派遣（16～21 日） ■環境大臣認定された「桜郷銅山跡農村公園自然共生サイト」の認定証授与式（19 日） ■湯田温泉こんこんパーク落成記念式典（27 日）

■山口市役所旧本庁舎の閉庁式（1 日） ■公費負担による 5 歳児健康診査の開始（1 日） 【写真 3】 ■令和 7 年国勢調査山口市実施本部を設置（2 日） ■史跡周防鋳銭司跡における新たな銭種「貞観永宝」の特別公開を開始（3 日） ■第 12 回山口市景観賞表彰式（8 日） ■大阪・関西万博における市長トップセールスの実施（11 日） ■山口大学経済学部観光政策学科に所属する学生 10 人を



【写真 3】公費負担による 5 歳児健康診査を開始しました

キャンペーン」のプレキャンペーン開始に伴う、SL やまぐち号の出発式（1 日） ■マイナ救急開始（1 日） ■山口市誕生 20 周年記念式典（4 日） ■湯田温泉こんこんパークの来館者が 10 万人に到達（8 日） 【写真 6】 ■KDDI 株式会社と地域活性化起業人に関する協定を締結（8 日） ■新市誕生 20 周年記念事業「地球の歩き方 山口市」発売（9 日） ■周防鋳銭司設置 1200 年記念事業「周防鋳銭司 1200 フェス」の開催（11 日） ■山口市ずっと元氣・PFS プロジェクトに係る共同記者発表（17 日） ■新山口駅北地区第一種市街地再開発事業竣工式（18 日） ■山口市長選挙（26 日）

■山口県中央消防指令センターの共同運用開始（1 日） ■「地域活性化起業人」として KDDI 株式会社から中村映文さんが着任（1 日） ■済南市（中国）との友好都市提携 40 周年を記念し、青少年書道交流展を両市で開催（1 日）



【写真 6】湯田温泉こんこんパークの来館者が 10 万人に到達